



じりつ「自律と自立」

指 宿 高 等 学 校

進路指導部 第6号【1・2年生用】

発行日 R2. 10. 8 (木)

2 学期中間考査・学年PTSA・地区大会 を終えて

2 学期中間考査が終わりました。どのような振り返りをしましたか。これからも考査・進研模試等は続きます。家庭学習の習慣を定着させていきましょう。10月に入り、入学して、進級して半年が過ぎました。高校生活の折り返し、後半スタートになります。これまでの学習状況を振り返り、自分で「不十分だ・変えたい」と感じる生徒は、次の期末考査に向けて振り返り、同じ事を繰り返すことがないように、自分の意識を変えていきましょう。意識を変えれば、行動は変わります。特に2年生は、高校生活の半分を終え、高校生活の折り返しになります。部活動生は、あと何ヶ月部活動が出来るか？想像してみよう。最も早い部活動引退は、来年5月末になります。

さて、学校の定期考査（中間・期末）の範囲は教科書の一部ですが、国公立大学等への進学をめざす皆さんが受験する大学入学共通テストの範囲は、全て教科書です。教科書の範囲外から出題されることはありません。したがって、学校の定期考査をこなしていくことが、新テストの対策に繋がります。3年間の定期考査の延長に、大学入学共通テストがあるということになります。今年度は3年生52人が共通テストを受験します。

◆ 今後の考査・模試について(予定)

10月30・31日(金・土) 2年生進研記述模試・・・理科・地歴が入ります。

10月31日(土) 1年生進研記述模試

11月24～27日(火～金) 2学期期末考査

◆ 1年生は文理選択、2年生はコース選択を真剣に考える時期になります。

3年生の状況

- ・ **公務員受験者は、結果が出始めます。大学への学校推薦型選抜の出願は11月1日～始まります。**
- ・ **専門学校・短大・大学の総合選抜型入試・学校推薦型入試の準備の真っ只中です。専門学校志望者の中には、受験を終えた人も出てきました。**
- ・ **52人が大学入学共通テストの出願を終えました。(在籍生徒 84人中)**

今年度の出願期間は、9月28日(月)～10月8日(木)であり、3年生84人中52人が出願しました。大学入学共通テストは、来年1月16・17日(土・日)に、例年は鹿児島国際大学で行われます。1年後・2年後は、あなたの番です。

昨年度の例を参考に、大学入学共通テストについて、3年生の動きをお知らせします。

1日目 行：指宿駅発 6：18→坂之上着 7：05

↓

帰：坂之上駅発 18：30→指宿駅着 19：23

2日目 行：指宿駅発 6：18→坂之上着 7：05

↓

帰：文系は、坂之上駅発 15：20→指宿駅着 16：16

理系は、坂之上駅発 18：30→指宿駅着 19：23

※ 模試を受けることに比べて、2日間の試験を受けることが、どれだけ長丁場になるか想像しましょう。

過去には、指宿駅を 6：18 出発のため、穎娃・開間方面の先輩の中には早朝 4：30 起床時間、朝食をJR車内で摂る先輩もいます。また、指宿駅到着 19：23 後に、近くのコンビニのお弁当で夕食を済ます先輩もいました。

模試を受けた後について (河合塾福岡校HPより)

点数や偏差値、志望大学の判定などが気になるかもしれませんが、表面的な結果に一喜一憂してはいけません。模試で一番重要なことは、学習状況をチェックするとともに自分の弱点を知り、それを克服するために学習計画を見直すことです。

そこで、今回は模試結果の分析方法について紹介します。

模試を受験しても、点数や判定を見てなんとなく危機感を覚えたり、漠然と「頑張ろう」と思ったりするだけで終わっていませんか？模試は受験するだけでなく、受験後に自己採点を行い、

「なぜ間違えたのか？」

間違えた理由を分析して、どのように対策したらよいかを考えましょう。

【原因①：解き方がわからなかった】

そもそも必要な知識が定着していない場合は、その分野についてテキストや問題集などを何度も見直し、反復練習することで徹底的に覚えましょう。

また、わかっていたはずの問題が解けなかったとしたら、実際はきちんと理解・定着していなかった証拠です。模試の問題や普段使っているテキストを用いて再度復習し、さらに類題をいくつか解くとなおよいでしょう。

【原因②：時間が足りなかった】

まずは一通り問題を見た上で、易しい問題から解く練習や、解答スピードをアップする練習を通じて、解法がわかる問題については確実に手をつけられるようトレーニングを行いましょう。

設問ごとに制限時間を設定するのも効果的です。

【原因③：ケアレスミス・計算ミス】

ケアレスミスや計算ミスを完全になくすことは簡単なことではありませんが、問題演習を積み重ね、速く正確に問題が解けるようトレーニングを行うことで改善できます。受験して終わりにするのではなく、その後の学習につながるヒントをたくさん見つけて下さいね。